

令和7年度

地域づくり活動応事業援

実績報告集

(一般枠・特別枠)



兵庫県西播磨県民局

目 次

(事業名)	(実施団体)	
特別枠		
【防災意識醸成事業】		
1 「西はりまこども防災フェスタ」の開催	太子町商工会 青年部	・・・ 1 頁
2 実践から学ぶ！多様性配慮型の避難所運営と救命スキル向上事業	道活	・・・ 3 頁
【芸術・文化・スポーツ振興事業】		
3 夢を育てる地域型スポーツ活動支援事業 ～楽しくなければスポーツじゃない 楽しいから夢が育つ～	播州ストリートスポーツ協会	・・・ 6 頁
4 有年者古めぐりモニターツアー	うね地区まちおこし隊	・・・ 10 頁
5 醬アート展	三軌：兵庫西播磨の会	・・・ 12 頁
6 たつのアート2025	たつのアート実行委員会	・・・ 14 頁
7 西播磨を音楽でつなぐプロジェクト	西播磨を音楽でつなぐプロジェクト	・・・ 16 頁
8 第3回秋を味わう引原ダム周遊サイクリング	イージーサイクリング播磨	・・・ 20 頁
9 楽しむことをバリアフリーに！誰もが楽しめるユニバーサルSUP活動	T-SIPたつのソーシャルインクルージョンプロジェクト	・・・ 22 頁
【万博を契機にした地域の魅力発信事業】		
10 大阪万博に呼応・赤トンボと人間との共生を目指そう	NPO法人たつの・赤トンボを増やそう会	・・・ 25 頁
【移住・定住促進事業】		
11 光都わくわくサイエンスフェスタ	光都わくわくらボ	・・・ 27 頁
一般枠		
12 親子で楽しむボードゲーム交流プロジェクト	西播ボードゲーム倶楽部	・・・ 30 頁
13 上郡☆つながるプロジェクト	しんぐうNext	・・・ 32 頁
14 播磨科学公園都市の自然環境についての調査・啓蒙による自然保護	兵庫県立大学自然研究会	・・・ 36 頁
15 地域をつなぐ音楽イベントを担う人材養成	Sing Super Sax Jazz Orchestra	・・・ 41 頁
16 西播磨山城イベントスタンプラリー2025	西播磨山城ガイド協会	・・・ 47 頁
17 県立大学学生有志と地域住民との文化的交流による光都の活性化	兵庫県立大学学生有志スパークル	・・・ 49 頁
18 愛（あい）言葉は山・川・海！里うみクリーンプロジェクト	特定非営利活動法人 赤穂里うみカヤックス	・・・ 53 頁

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：「西はりまこども防災フェスタ」の開催

団体名：＜太子町商工会 青年部 ＞

所在：兵庫県揖保郡太子町東南 51-1

代表：部長 飯田 晃祐

目的	西播磨地域の住民に対し「防災意識の醸成」を図る				
事業内容	令和8年1月25日(日)に防災イベントを開催した。 特に次世代を担う若者や子供に向け防災・減災への関心や理解を深めてもらう場を提供した。西播磨県民局および西播磨地域の4市3町の後援・各教育委員会の後援をとり、イベント告知を行政機関設置・広報・学校配布により行った。				
地域	イベント開催地：丸尾建築総合公園 住所：揖保郡太子町佐用岡 246-1 対象地域：西播磨4市3町の住民に向けたイベント				
事業の効果	来場者数(スカウター計測)は1,743名、防災イベントを3つ以上体験された方(スタンプラリー参加者)374名、炊き出し体験385人、防災士ブース参加者180人。献血者数51名。 アンケート(デジタル)集計結果(回答者179名)で、イベント後のアンケートにて、アンケート回答者の93%の方(168人)が本イベントに参加して防災意識が向上したと回答した。				
事業経過	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	R8.11.14	太子町総合公園	Y's Camp Market グッズ展示・販売ブースの会場視察	主催2人	出店1人
	R8.12.15	太子町総合公園	(株)福翔 ドローンブース(体験学習室・多目的2)の視察	主催2人	出者2人 太子町まちづくり課2人
	R8.1.8	太子町総合公園	(株)福翔 ドローンブースのリハーサル※体験学習室・多目的2の利用料あり	主催2人	出店者2人
	R8.1.24	太子町総合公園	出店者のテント12・机47・椅子94の設営作業 駐車場ライン引き・駐車場看板立てなど	主催10人	運営補助2人 設営スタッフ3人
R8.1.25	太子町総合公園	イベント開催 AM10時~15時迄 運営含む45団体参加 来場者総数1,743名	主催16人 西青連30人(運営・出店)	撤去スタッフ3人 警備3人	



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	1. 西播磨地区商工会青年部連絡協議会（太子町・たつの市・上郡町・宍粟市・佐用町の各商工会）2. 西播磨青年会議所 3. 出店者・運営団体 当部含む45団体
今後の展望	1. 西青連内での「災害への取組み・連携」を図る。災害時に支援活動を効果的に行えるよう県青連・防災委員会を中心として、商工会青年部の各ブロック内で協定を結ぶ提案が出ている。2. 西播磨青年会議所とのつながり・各事業での連携を強化していく。3. 今回参加された各団体との連携強化を行う（太子町社会福祉協議会 兵庫県防災士協会 丹波市商工会 はりまキッチンカー協会 警察・消防署・自衛隊・赤十字血液センター 県土木事務所 Y' Camp Market グループほか）

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：実践から学ぶ！多様性配慮型の避難所運営と救命スキル向上事業

団体名：< 道活

>

所在：兵庫県宍粟市山崎町今宿 100-3 チャリティーショップ道内

代表：栗山こまよ

目的	・西播磨発「やさしい日本語」で AED を使用した心肺蘇生法の普及 ・多様な配慮が求められる避難所での食物アレルギー表示と炊き出し体験 ・女性や子どもへの AED 使用における心理的・技術的障壁の解消				
事業内容	1)「やさしい日本語」による AED 講習会の開催 2)被災体験や専門家による防災講演会 3)多様性に配慮した避難所体験の実施: 4)「やさしい日本語」での AED 講習会や避難所体験の報告 5)子どもや女性が傷病者であった場合の AED・心肺蘇生法の普及と次年度以降のテキスト更新準備::				
地域	宍粟市、赤穂市、たつの市 オンラインにて全国				
事業の効果	・本事業で得られた具体的な課題や改善提案、有効な啓発手法等を宍粟市危機管理課、防災士会等に報告した。今後、地区防災計画や避難所マニュアル改訂、地域での防災訓練等への具体的な反映を働きかける。 ・「やさしい日本語」で行うことで多様な人々が一緒に学べることを西播磨地域以外にも広めることができた。兵庫県国際交流協会、加古川市国際交流協会、愛知県国際交流協会や愛知県の企業等で、同じテキストを使用した AED 講習会が実施された。 ・女性や子どもを含む全ての傷病者に対して、ためらうことなく、かつ適切に AED を用いた心肺蘇生法を実施できるよう住民に広めることができた。				
事業経過	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	4月18日	道活	AED講習会、防災講演会 避難所体験 準備	0	3
	4月19日	たかのす東小学校(宍粟市)	AED講習会、防災講演会	42	3
	4月19日、20日	たかのす東小学校(宍粟市)	避難所生活体験(炊き出し含)	23	3
	4月27日	オンライン	反省会(講演会講師と共に) 振り返りと意見交換	3	1
	5月12日	オンライン	AED講習及び避難所体験報告 主催:ことのはラーニング	10	1
	6月20日	オンライン	AED講習及び避難所体験報告 主催:アルファサード	96	1
	9月27日	赤穂市	「原土器」イベント出展 (応急処理展示)	36	1
	9月28日	たつの市新宮町	「ひがん花まつり」イベント出展 (応急処理展示)	47	1
1月12日	道活	今年度活動の振り返りとまとめ	2	3	

2025年4月19日
AED講習会



2025年4月19日
防災講演会



2025年4月19日
避難所体験 アレルギー表示
メニューを決めず、持ち寄った食材
で炊き出し



2025年4月20日
避難所体験
振り返りの話し合い



2025年9月27日
原土器
女性用-服を切って脱がさずに実施



2025年9月28日
ひがなばな祭
親子で参加が多い



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	<p>鷹巣自治会 宍粟市危機管理課 西はりま消防組合 応急手当普及員 一般社団法人やさしい日本語普及連絡会 株式会社ことのはラーニング アルファサード株式会社</p>
今後の展望	<p>・次年度以降、今回のモデルを基に、より多くの地域の住民（特に多様な配慮が必要な方々やその支援者）を対象とした避難所体験ワークショップや、性差・年齢差に配慮した実践的な AED 講習会等を展開していきたい。</p> <p>・今回の参加者の感想を参考に、AED テキストの内容を更新し、乳幼児や女性に対する心肺蘇生法や AED 使用の手順及び注意事項を追加したい。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：夢を育てる地域型スポーツ活動支援事業

～ 楽しくなければスポーツじゃない 楽しいから夢が育つ ～

団体名：＜播州ストリートスポーツ協会＞

所在：たつの市龍野町堂本 227-1 クリエーションタツノ 2F

代表：神成一志

目的	*西播磨発 NEW スポーツ文化による町の活性化モデルを他地域へ発信。 *ダンススポーツを核にした“誰でも始めやすい”NEW スポーツ文化で 若者の居場所と表現の場を創出。 *「向こう三軒両隣」精神で地域全体が子どもを育てる“現代版の村”を再生。				
事業内容	目的：若者のスポーツ離れ・体力低下・世代間交流不足を同時解決。 手法：NEW スポーツ（ダンス・ストリートサッカー・スケートボード・BMX）を“進化系ラジオ体操”として日常化。 年間運用：体験キャラバン（体育館・スーパー駐車場等）＋通年キッズスクール 特別企画：11月＝プレイキン日本トップ選手の講演+模範演技。 理念：アフリカのことわざ／「向こう三軒両隣」の精神で“現代版の村”を再生。 期待効果：子ども＝体力・自己肯定感・夢／大人＝地域誇り回復／地域＝交流人口増・文化定着。 連携：行政・学校・企業・地域団体と協働し、持続可能なネットワークを構築。 将来像：循環モデルで自主運営へ移行し、地域に常設のスポーツ文化を定着。				
地域	西播磨全域				
事業の効果	子ども：運動習慣の定着、体力向上、自己肯定感・挑戦心の向上（非運動層の参加拡大）。 世代交流：子ども・保護者・高齢者が同じ場で活動し、世代間のつながりを回復。 地域コミュニティ：「向こう三軒両隣」の関係性を再生し、地域の誇りと一体感を醸成。 インクルージョン：障がいの有無・年齢・経験を問わず参加可の包摂的な場を提供。 人材・仕組み：指導者育成と運営ノウハウの蓄積により、自走可能な継続モデルを構築。 行政・学校・団体連携：協働体制が強化され、部活動地域移行の受け皿としても機能。 情報発信・波及：SNS等で成果を可視化し、参加裾野と交流人口を拡大。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	6月14日	たつの市 はつらつセンター	ダンススポーツ	30	3
	6月21日	たつの体育館	ストリートサッカー	10	2

7月12日	たつの体育館	ダンススポーツ	30	3
8月3日	たつの アクアホール	イベント ダンススポーツ交流 THE equal DAY	700	6
8月13日	宍粟市 なぎさ公園	イベント スケートボード ダンススポーツ BMX	150	4
8月23日	たつの体育館	ダンススポーツ	27	3
9月28日	コープ龍野	イベント スケートボード、 BMX、ストリートサッカー、ラ ンバイク ダンススポーツ	200	12
10月12日	たつの市 中央公民館	ダンススポーツ	26	3
11月3日	たつの市役所 周辺	イベント ダンススポーツ 交流	300	5
11月9日	たつの赤トン ボホール たつの青少年 館	イベント スケートボード、 ストリートサッカー、 ダンススポーツ BMX	1200	20
11月9日	たつの赤トン ボホール	ストリート文化フォーラム	400	10
11月15日	たつの市 中央公民館	ダンススポーツ	32	3
11月16日	たつの青少年 館周辺	イベント ダンススポーツ 交流	400	6
12月14日	たつの体育館	ダンススポーツ	32	3
1月11日	たつの 中央公民館	ダンススポーツ	36	3
1月24日	たつの体育館	ストリートサッカー	8	2

1月25日	御津グラウンド	イベント ダンススポーツ 交流	150	4
1月25日	コープコレル	ダンススポーツ	25	3
1月31日	たつの体育館	ストリートサッカー	11	2
2月7日 予定	はつらつセンター	ダンススポーツ	37	3
2月8日 予定	コープコレル	ダンススポーツ	28	3
2月15日 予定	コープ上郡	イベント ストリートサッカー、 ダンススポーツ、走り方教室	200	12

8.30 NEW スポーツ体験キャラバン
ダンススポーツ



9.28 NEW スポーツ体験キャラバン
ランバイク BMX



11.9 NEW スポーツ文化フォーラム



9.28 NEW スポーツ体験キャラバン
スケートボード



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	
今後の展望	<p>定例化・多拠点化：コープ広場／体育館等での開催を標準化、各市町へ順次拡大。</p> <p>学校連携：部活動地域移行の受け皿としてダンススポーツ部を設置、外部指導体制を整備。</p> <p>インクルーシブ拡大：障がい者チーム×健常者チームの合同演技・交流戦を定例化。</p> <p>人材育成：ユース/一般のリーダー50名育成、指導者資格カリキュラムを構築。</p> <p>年次行事の定着：文化フォーラム（11月）・サミット（2月）を恒例イベントに。</p> <p>KPI運用：参加者数・継続率・自己肯定感・交流人口を指標化し每期評価。</p> <p>情報発信：SNS/動画で可視化し、地域メディアと連携して波及を拡大。</p> <p>横展開：西播磨モデルを県内他地域へ移植、自治体間連携を推進。</p> <p>安全管理：リスク対策マニュアル・保険加入・運営標準化で安心参加を担保。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：有年考古めぐりモニターツアー

団体名：<うね地区まちおこし隊>

所在：赤穂市有年原913番地2

代表：佐伯敦

目的	忠臣蔵や義士で有名な赤穂市ですが、その北部に位置する有年は縄文、弥生、古墳時代の遺跡や遺物が多数出土している考古のまちである。しかしながらその知名度はまだまだ周知されておらず、有年以外からお越しの方はもちろん、有年在住の方にも関心や知識を持ってもらいたいと考える。				
事業内容	有年の古代文化に焦点を当て、考古学に関心の高い方を中心にモニターツアーを開催した。モニターツアーの実施については、姫路市内の旅行会社と連携し、ツアー後には参加者アンケートを行った。今後の活動、人材育成や環境整備の新たな着眼点を見つけていく。				
地域	赤穂市有年地区内（有年檜原地区・有年原地区・東有年地区）				
事業の効果	お陰様で、ツアーの申し込み受付を開始してから約2週間でほぼ満席となった。その後も問い合わせやキャンセル待ち希望が出るほど多くの関心を得ることが出来た。ツアー終了後に参加者におこなったアンケートにおいても「参加して良かった」「大満足」「また有年に来てみたい」など高評価を得ることが出来た。西は岡山市、東は神戸市からの参加者があり、地元有年、赤穂からの参加者もあった。ツアー前日には地元の方が落ち葉などを掃除してくださったり、当日には自治会長が自治会内の引率や安全確保をしてくださったりと、地元の皆様に関心をもっていただく事が出来た。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	7月5日	有年地区内文化施設、史跡	モニターツアーの下見	5	2
	12月6日	有年地区内文化施設、史跡	有年考古めぐりモニターツアー	35	12
	1月10日	有年東部農村多目的共同利用施設	モニターツアー結果報告会	8	6



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	赤穂市教育委員会 株式会社国際旅行
今後の展望	今回のデータを基に今後も赤穂市教育委員会と協働し、有年地区内の遺跡公園や有年考古館を利用したツアーを実施する。今回のノウハウを活かし、今後も株式会社国際旅行と協働し、有年地区内に限らず西播磨地区の方々とも連携し、西播磨全体のツアーを実施できる見込みが見ついた。西播磨の文化の認知をさらに上げ、全国にも西播磨の文化的価値を発信してまいります。

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 醤アート展

団体名： < 三軌：兵庫西播磨の会 >

所在：たつの市龍野町片山2-9

代表：横田 京悟

目的	紙に醤油で描いた作品の全国公募展を実施し、日本の文化芸術と地場産業をこの西播磨から発信していき、併せて、子どもたちと障害者を対象に水の郷をテーマしたお絵描きワークショップを行うとともに音楽コンサートを開催し、絵画と音楽のコラボレーションを行うことにより芸術と音楽の両面に親子で親しむ機会を創出しようとするものです。				
事業内容	西播磨地域はもとより、醤油醸造地である全国の7市町に、「水の郷」をテーマに醤油で描いた絵画を募集し、作品展示会を開催するものです。「醤アート展」と題して、募集要項を作成し、醤油醸造地等に送付し、作品を募ります。応募作品は、A4サイズの紙に醤油で描いた作品を公開展示し、観覧者による投票により優秀な作品にはそれぞれ賞を贈呈するものです。全国から来場者を受け入れ、より西播磨のPRにつなげる企画です。併せて、音楽コンサートを同時開催し、絵画と音楽に親しむ機会を創出します。また、子どもや障害者を対象に水をテーマにお絵描きワークショップを開催し、子供から大人まで西播磨の魅力を発信するものです。				
地域	西播磨から発信し、県内はもとより全国規模の展覧会を目指すものです。				
事業の効果	〔事業の効果〕 西播磨は揖保川の清流に育まれた醤油の産地であり、同様に日本全国にも醤油醸造業が栄え、水の恵みであることの認識を深めるとともに、芸術、音楽を通して、出品者や観覧者が地域を超えた交流が図れます。また、産業の発展、賑わいのある観光の振興にもつながります。				
事業経過	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	6月1日～	募集要項チラシを作成し、配付	応募チラシ4,000枚を全国の醤油醸造組合や全国の観光協会、教育委員会、作家等に配布し、PRを行った。	4,000枚	6人
	7月26日、 8月3日、 8月10日、 8月23日	ピアさぼーとセンター	子どもと障害者のお絵描きワークショップ	40人	2人
	11月15日 ～23日	龍野城にて 作品展示準	応募者展示数 26点、 たつの市8点、姫路市9点、神戸市3点、 大阪市2点、京都府1点、東京都1点、 宮崎県2点 委員出品数 26点	1,241人	6人
	11月22日 11月23日	龍野城にて音楽コンサート	音楽演奏 11月22日、岩本千景氏 2回演奏 11月23日、山田直毅氏、久保貴子氏 2回演奏	120人	6人
11月25日 ～ 1月31日	ギャラリーYYK この間の土日のみ開館	表彰状及び入選証書の送付 応募者26点の展示	100人	2人	

お絵描きワークショップ 【7月26日、8月3日、8月10日、8月23日】参加者40人



第2回醬アート展(龍野城にて作品展示) 【11月15日~23日】観覧者1,241人



第2回醬アート展(龍野城にて音楽コンサート) 【11月22日、11月23日】聴衆者120人



ギャラリーYYK 【11月25日~1月31日】観覧者100人



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

<p>協働の相手方</p>	<p>後援のたつの市では、会場の使用料を減免していただいている。また、PRについて商工課、観光課、社会教育課等の関係課においても積極的に協力体制をとっていただいた。</p> <p>音楽家とのコラボレーションでは、西播磨に多くの音楽家が活動されており、非常に協力的であり、今後も幅を広げていきたいと考えています。</p> <p>子どもや障害者を対象としたお絵描きワークショップの会場は、社会福祉協議会の理解のもと、無料で使用させていただいており、参加者も活動しやすい状況であります。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>今までの経験を活かして、地場産品である醤油を使った絵画展を開催し、従来の美術展にはなかった全国規模の新たな展示会を開催するものです。</p> <p>日本では西播磨だけのものであり、美術界では存在しなかったインパクトの強いイベントになるものと確信しています。次年度以降においても更に本事業の充実、展開につなげていきたいと考えています。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： たつのアート2025

団体名：たつのアート実行委員会

所 在：たつの市龍野町富永 1439

代 表：加須屋明子

目 的	地域に残る文化遺産を活用し、そこで様々な創造的催しを開催することによって、幅広い年齢層にアピールし、また近隣県からの注目も集め、たつの市の魅力をより多くの人々に知ってもらえるよう企画を実施。				
事業内容	たつのアート2025「里山の響き、自然との共鳴」をテーマに内外で活躍中の作家の展示と、たつの市教育委員会と連携し、新宮地域にて作家と共にワークショップを実施し、その成果を新宮と龍野町で発表。また、藪田翔一作曲オペラ「女王卑弥呼」よりハイライト演奏会を赤とんぼ文化ホール大ホールにて開催。				
地域	ワークショップ／たつの市新宮町各所 展示／たつの市龍野町 大正ロマン館、かどめ公園休憩所、ギャラリー、アポロオペラ／たつの市龍野町 赤とんぼ文化ホール				
事業の効果	ワークショップや会期中滞在作家と来場者との交流や、作家のトークイベントを通じて、里山の 自然と人間、地域社会、そして国際的視点が交錯し、作品鑑賞の場にとどまらず、対話・体験・交流を重ねることで、自然 と人間の共鳴を探る場を生み出したと言える。その意味で本 企画は、ささやかながらも地域に根ざしつつも世界に向けて広くひらかれた、総合的な芸術実践の試みと位置付けることができたのではないかと思う。藪田翔一作曲、池田理代子脚本のオペラ「女王卑弥呼」ハイライト演奏会では、歴史的・文化的文脈が感覚的に体験される場となった。				
	日付	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	9月13日～23日	大正ロマン館 かどめ公園休憩所 アポロランプ アポロス タデオ ギャラリー	絵画、インスタレーション、映像展示、ワークショップ成果物展示 9/13「オープニングトーク作家語る」参加者33人 9/16「トークポーランドの暮らし」参加者30人 9/21 「ギャラリーツアー」参加者16人 9/22 「里山の暮らし」参加者33人 9/23 「クロージングトーク」参加者35人	3046 内訳 来場者 作家 延べ スタッフ	28 人

11月2日	赤とんぼ文化ホール大ホール	オペラ [女王卑弥呼] ハイライト演奏会 お客様418人 出演者10人 西播磨オーケストラ41人 スタッフ21人	490人	72人
-------	---------------	--	------	-----



9月13日～23日 大正ロマン館



9月13日～23日 アポロスタジオ



9月13日～23日 アポロランプ



11月2日 赤とんぼ文化ホール大ホール

※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	たつの市教育委員会歴史資料館企画の「山の楽校」にてたつのアート作家が各地でワークショップをおこなった。 アート de 元気ネットワークひょうご推進会議と共同 PR オペラハイライト演奏会では地元西播磨交響楽団メンバーに全曲の演奏をお願いし、半年を通じ曲づくりをお願いした。 助成先のダイセル株式会社とは、展示会場での上映や、トークイベント、またオペラ演奏会のスタッフとして協力していただいた。
今後の展望	たつの市教育委員会の来年の企画「まちの楽校」では旧たつの市が舞台になるので、引き続き連携。 展示や演奏会を旧たつの市の歴史的建造物などで開催予定。

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 西播磨を音楽でつなぐプロジェクト

団体名： < 西播磨を音楽でつなぐプロジェクト >

所在： たつの市御津町釜屋 198-6

代表： 市原 実

目的	<p>個人・団体の区別、世代を問わず、いろいろなジャンルで音楽活動を行っている演奏者が一堂に集い、音楽による交流を図ることにより、音楽による地域づくりをめざす。</p> <p>幅広い世代を対象に音楽講座を実施し、地域の音楽活動の活性化を図る。</p>																								
事業内容	<p>1 音楽講座（音楽療法） 日 時 令和7年7月1日(火) 10:30~11:40 場 所 西播磨文化会館 講堂（たつの市） 講 師 音楽療法研究会ほっとたいむ 参加者 58名</p> <p>2 音楽講座（歌唱）全5回（13:30~15:00） 場 所 西播磨文化会館 講堂（たつの市） 講 師 中條 浩樹（声楽家・合唱指揮者） ※③のみ、政家幸子（西播磨文化会館 専門員） 参加者 実人員100名、延べ323名</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日時</th> <th>歌唱曲目</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>R7. 7. 4(金)</td> <td>夢路より</td> <td>63名</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>R7. 8. 1(金)</td> <td>花</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>R7. 10. 10(金)</td> <td>星に願いを</td> <td>67名</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>R7. 11. 14(金)</td> <td>初恋</td> <td>58名</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>R7. 12. 12(金)</td> <td>帰れソレントへ</td> <td>57名</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 音楽講座（器楽） 日 時 令和7年11月24日(月・祝) 14:00~16:00 場 所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール 小ホール（相生市） 講 師 政家 幸子（西播磨文化会館 専門員） 出演団体(者) 7団体(者) 参加者(観客含む) 108名</p> <p><プログラム></p> <p>①ピアノ連弾 政家 裕典・政家 幸子 ②オカリナ オカリナそよ風 ③ピアノ独奏 矢野洋太郎 ④Jazz Sing Super Sax Jazz Orchestra ⑤ピアノ弾き語り 大下 淑子 ⑥一人おやじバンド 浅田 尚宏 ⑦Jazz 久戸瀬明彦・桶本 重樹 ⑧みんなで歌いましょう♪ 「ふるさと」</p>	回	日時	歌唱曲目	参加者	①	R7. 7. 4(金)	夢路より	63名	②	R7. 8. 1(金)	花	78名	③	R7. 10. 10(金)	星に願いを	67名	④	R7. 11. 14(金)	初恋	58名	⑤	R7. 12. 12(金)	帰れソレントへ	57名
回	日時	歌唱曲目	参加者																						
①	R7. 7. 4(金)	夢路より	63名																						
②	R7. 8. 1(金)	花	78名																						
③	R7. 10. 10(金)	星に願いを	67名																						
④	R7. 11. 14(金)	初恋	58名																						
⑤	R7. 12. 12(金)	帰れソレントへ	57名																						

事業内容	<p>4 音楽交流会 日時 令和7年12月20日(土) 13:30~17:00 場所 西播磨文化会館 講堂 (たつの市) 参加者(観客含む) 198名 <プログラム> ①Jazz Sing Super Sax Jazz Orchestra ②混声合唱 音楽講座(歌唱)受講生 ③フルート独奏 フルード 服部ひかる ピアノ 服部有希子 ④四重奏 アンサンブル♪西播磨の仲間たち ⑤女声合唱 ハーモニーAi ⑥邦楽 邦楽集団 秋桜 ⑦女声合唱 コール・コスモス ⑧ピアノ独奏 吉田 裕文 ⑨チェロ独奏 チェロ 原田芳彰 ピアノ 大高美沙 ⑩混声合唱 Oberster Chor, AIOI ⑪合同演奏 「ふるさと」</p> <p>○関係者交流会(音楽交流会終了後) 各出演団体代表者等32名で情報交換会を実施</p>				
	地域	西播磨地域全域			
事業の効果	<p>歌唱や器楽による演奏活動や音楽講座の実施を通して、技術の向上と幅広い世代との交流が図られ、西播磨地域の音楽活動の振興に寄与できた。 西播磨地域を中心に芸術文化(音楽)活動を行っている個人や団体と地域との交流の場を設けることにより、音楽による西播磨地域の活性化につながられた。</p>				
事業経過	日時	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	R7.4.25	なぎさホール	事業打合せ	1	7
	6.7	西播磨文化会館	講師との打合せ	1	3
	6.20	西播磨文化会館	楽譜印刷・製本		4
	7.1	西播磨文化会館	音楽講座(音楽療法)	58	4
	7.4	西播磨文化会館	第1回音楽講座(歌唱)	63	4
	8.1	西播磨文化会館	第2回音楽講座(歌唱)	78	4
	9.6	相生公民館	事業打合せ	1	7
	10.10	西播磨文化会館	第3回音楽講座(歌唱)	67	5
	11.14	西播磨文化会館	第4回音楽講座(歌唱)	58	4
	11.24	なぎさホール	音楽講座(器楽)	108	5
	11.29	相生公民館	事業打合せ	1	7

日時	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
12. 5	なぎさホール	事業打合せ	1	7
12. 12	西播磨文化会館	第5回音楽講座（歌唱）	57	4
12. 20	西播磨文化会館	音楽交流会	198	7
R8. 1. 17	相生公民館	事業打合せ	1	7

R7. 7. 1(火) 音楽講座（音楽療法）



R7. 7. 1(火) 音楽講座（音楽療法）



音楽講座（歌唱）



R7. 11. 24(月祝) 音楽講座（器楽）



R7. 11. 24(月祝) 音楽講座（器楽）



R7. 11. 24(月祝) 音楽講座（器楽）



R7. 11. 24(月祝) 音楽講座 (器楽)



R7. 12. 20(土) 音楽交流会



R7. 12. 20(土) 音楽交流会



R7. 12. 20(土) 音楽交流会



R7. 12. 20(土) 音楽交流会



R7. 12. 20(土) 音楽交流会



<p>協働の相手方</p>	<p>西播磨文化会館</p>
<p>今後の展望</p>	<p>今年度の取り組みをより多くの演奏家や地域の方々に広報し呼びかけることで、今後さらなるレベルアップされた事業展開が期待できる。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 第3回 秋を味わう引原ダム周遊サイクリング

団体名： <イージーサイクリング播磨>

所在： 宍粟市山崎町鹿沢

代表： 飯塚 正浩

目的	サイクリングイベントを開催することで、宍粟市内の国道29号沿線の元気回復				
事業内容	しそう山崎観光駐車場から引原ダムまでの間を往復する約80kmのサイクリングイベントの開催。 インフルエンサーをゲストライダーとして、県内にとどまることなく県外参加者を多く誘致する。				
地域	宍粟市山崎町～宍粟市波賀町				
事業の効果	申込者89名のうち、県内からの申し込みが60人、県外からの申し込みが29人となっており、1/3が県外となっている。 また、県内参加者のうち中播磨、西播磨以外の参加者が25名となっており、一定の効果があると思われる。 また、参加者から「次回も参加したい!」と声も多くいただいている。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	令和7年8月24日	笹川宅	チラシの確認、広報方法	3名	
	令和7年9月28日	しそう山崎観光駐車場～引原ダム間	サポートライダー試走①	12名	2名
	令和7年10月5日	しそう山崎観光駐車場～引原ダム間	スタッフ現地立会い	16名	
	令和7年10月11日	しそう山崎観光駐車場～引原ダム間	サポートライダー試走②	3名	2名
	令和7年10月26日	しそう山崎観光駐車場～引原ダム間	サイクリングイベント	76名	29人
	令和7年10月30日	笹川宅	アンケート結果、反省点の確認	3名	

写真（10月25日 昼食会場準備）



写真（10月26日 棚田写真撮影）



写真（10月26日 ダム写真撮影）



写真（10月26日 休憩場所）



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	<p>エイド（補給食）の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宍粟メイプル(株)、はがこにぎり、たい焼松川、ヤマサンド、(株)とくさや <p>サポートライダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)大久保製作所 <p>休憩場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)一宮電機、宍粟メイプル(株)
今後の展望	<p>あいにくの天候でのイベントであったが、多くの参加者から「めっちゃ楽しかった!」、「食べ物がどれもおいしかった!」の声を多く聞くことができた。また、休憩場所で使わせていただいた企業、今回は見送られた企業からも「次回からお手伝いしたい」との声を頂いており、地域おこし活動の広がりを期待している。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：楽しむことをバリアフリーに！誰もが楽しめるユニバーサル SUP 活動

団体名：<T-SIP たつのソーシャルインクルージョンプロジェクト>

所 在：たつの市龍野町堂本179

代 表：代 表 宮 崎 宏 興

目的	年齢や性別、障がいの有無を問わず楽しめる海遊びで、新たなまちおこし資源として誰もが住み続けられるまちづくりになると同時に、人々が物理的社会的バリアを超えた「楽しむ」体験を実現し、新たな海文化を創造する。				
事業内容	国内有数の遠浅浜を有する、たつの市新舞子浜を開催会場とし、年齢や障がいの有無を問わず楽しめるユニバーサル SUP 活動を実施。SUP ボードで姿勢を保持するための機材の開発は、設計を神戸芸術工科大学および神戸学院大学の学識者とともに設計し、製作は六甲山クリエイティブラボ (creolab) と共同製作する。ボランティアスタッフは、特定非営利活動法人いねいぶる、神戸学院大学生および龍野北高校生、たつの市内有志のプロジェクトチームで編成し、ユニバーサル SUP 体験参加者を募集する。9月及び10月の体験会開催当日は、地元の見学者も含め、おおよそ各40名ずつであった。				
地域	兵庫県たつの市御津町新舞子浜				
事業の効果	本事業の実施により、これまで以上に多様な人々へ海遊び体験を提供し、多様性への理解とバリアを超えた社会参加を推進することができた。また、ユニバーサルな海辺づくりは、まちおこし資源の一つとして新たな海文化を醸成し、広くインクルーシブ社会の一助となったと考える。				
	日付	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	8月13日	新舞子海水浴場	ユニバーサル SUP 体験会	15	6
	8月30日 9月3日 9月10日 9月18日	オンライン 六甲山クリエイティブラボ 六甲山クリエイティブラボ 六甲山クリエイティブラボ	SUP 上での姿勢保持機材に係る 打ち合わせ	6	6
	9月21日	新舞子海水浴場	ユニバーサル SUP 体験会	38	6
	10月11日	新舞子海水浴場	ユニバーサル SUP 体験会(天気不良のため、スタッフのみで資機材の検証)	7	7
	10月31日	オンライン	今年度の振り返り		

写真 2025.9.21 重度心身障害

姿勢保持具とアウトリガー装着



写真 2025.9.21 両下肢障害



写真 2025.9.21 左片麻痺



写真 2025.9.21 自閉症知的障害



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	<p>神戸学院大学総合リハビリテーション学部社会リハビリテーション学科金井ゼミ 専任教員 金井謙介</p> <p>六甲山クリエイティブラボ／creolab 木製家具、製品設計製造 野口 僚</p>
--------	--

今後の展望	ユニバーサル SUP 活動を持続的に発展させることは、西播磨の海に新たな魅力を見出し、人々の暮らしを豊かにし、ウェルビーイングやハピネスを高めることにつながる。新たな観光産業や健康福祉資源として発展展開するものと考えられる。
-------	--

事業実施報告書

事業名： 大阪万博に呼応・赤トンボと人間との共生を目指そう

団体名： <NPO 法人たつの・赤トンボを増やそう会>

所在： たつの市龍野町島田321番地

龍野コルク工業株式会社内

代表： 前田 清悟

目的	<p>① 今回の大阪万博に関連した“ひょうごフィールドパビリオン”のSDGs体験型地域プログラムでは、童謡「赤とんぼ」の情景復活を目指す各種実験や作業を体験して頂くことで、当会が取り組みがアキアカネだけに限らず、他の水生生物にも通ずることをより多くの方々にとって頂き、当会の活動に対する理解を深めて頂く。</p> <p>② また、“ひょうごシンクロイイベント”では、当会の活動が生物多様性に資することをさせて頂き、外部講師と、会場及びZoom参加者と意見交換をする中で、生物多様性の維持、改善等についての知見を相互に深める。</p>				
事業内容	<p>上記①に関しては、当会のメインの実験施設のトンボ池に足を運んで頂き、アキアカネ復活の為の各種実験に関して、月1回のペースで各月のタイムリーなテーマに応じた場面を体験したり、観察して頂いた。上記②に関しては、初めに当会の取り組みや生物多様性との関わり等をご説明し、次に県立人と自然の博物館の三橋先生に、兵庫県の田んぼと生物多様性等についてお話頂いた。さらに2人の講師と、会場及びZoom参加者との意見交換や質疑応答等を行なった。</p>				
地域	<p>上記①については、童謡「赤とんぼ」を作詩した三木露風の生誕地である「たつの市」。また、上記②については神戸市だが、Zoomも併用して参加地域を拡大した。</p>				
事業の効果	<p>上記①では、今年は高温が長続き、特に当会のような炎天下の行事は敬遠されたようで、参加人数は多くなかったが、9月のトンボ池の微生物観察では、24インチモニタに拡大された微生物の映像が映し出された時、驚きの声が聞かれた。また上記②では、遠隔地からのZoom参加も多く、会場参加者や講師との意見交換が出来たのは有意義で、特に田んぼの水管理に関する外部講師の助言等は大変良かった。以上により、本事業の目的であった地域内外の方々へ当会の活動に対する周知および理解醸成は進み、事業効果はあったと考える。</p>				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	4/18	トンボ池(龍野)	<フィールドパビリオン> 馬糞堆肥切返し作業体験	0	—
	5/9	同上	マコモの田植え体験	2	3
	6/6	同上	マコモ畑に馬糞堆肥施肥体験	0	—
	7/~20	同上	羽化直後のアキアカネ観察/マコモ畑の微生物を顕微鏡で観察	0	—
	8/8	同上	昆虫観察(親子向け)	0	—
	9/14	同上	マコモ畑の微生物観察	11	3
	10/10	同上	浅い水たまり作り見学	2	3
	11/7	同上	アキアカネ等の自然産卵観察	0	—
	9/23	兵庫県学校厚生会館(神戸)	<シンクロイイベント> 童謡赤とんぼのアキアカネを復活させよう!~生物多様性との関わり	会場9 Zoom28 (合計37)	4

5/9 マコモの田植え体験



9/14 マコモ畑の微生物観察



10/10 浅い水たまり作り見学



9/23 シンクロイベント (神戸)



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	なし
今後の展望	<p>当会はアキアカネを復活させる目的で活動している。彼らは、羽化するまで水中で過ごす為、ふ化直後の水中のエサが重要である。そのようなことから、生態系の食物連鎖ピラミッドの最も底部に位置する微生物の重要性に注目している。また、エサとなる微生物は光合成を行なうものもいる。光合成を行なう微生物を増やすには、当会が開発した馬糞堆肥が大変有効である。これを植物に施肥することで、植物が大きく育ち、微生物は、水生生物のエサにもなり、CO₂固定化にもつながる。当会としては、この仕組みを活用出来る証拠としてマコモの栽培に力点を置いて活動を続けたい。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：光都わくわくサイエンスフェスタ

団体名：光都わくわくラボ

所在：たつの市新宮町光都 2

代表：平田邦生

目的	研究機関等での実務経験を有する科学者による体験型科学イベントを通じて、子どもたちの科学への興味を高めるとともに、研究機関・大学への親近感と光都地域への愛着を育む。				
事業内容	本事業では、科学の魅力を子どもたちに伝えるため、研究分野で実務経験を有する科学者等を講師とした体験型科学イベントを、月1回程度の頻度で継続的に開催した。各回においては、実験・観察・工作等の参加型・体験型手法を取り入れ、子どもたちが主体的に科学に触れられる内容とした。イベントは、光都地区において実施した。				
地域	播磨科学公園都市で実施。教育委員会の後援は播磨高原広域事務組合・たつの市・上郡町・佐用町から頂き、チラシはこれらの教育委員会の協力を得て小中学校へ配布した。				
事業の効果	市内小中学校への周知を通じて多くの参加が得られ、科学体験イベントに対する関心の高さを確認した(実質：チラシ配布に対して最大1%程度の参加者)。研究施設や大学に対する理解と親近感が生まれ、参加者による体験内容の共有など波及的な効果が見られた。これにより光都地区が科学に親しめる地域として認知され、地域イメージの向上や住民定着促進への効果があったと考えている。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	8/1	新宮図書館	「ペットボトルで作る泳ぐ魚のレース場(浮沈子)」	20	2
	9/28	ケミプロ化成先端科学技術支援センター	第一回光都わくわくサイエンスフェスタ「光と色のサイエンスワールド」	70	4
	11/1	ケミプロ化成先端科学技術支援センター	第一回カフェ・カガク・コウト(兵庫県立大・サイエンスカフェ共催) 「ウソ?ホント!調べて初めてわかるプラナリアの世界」	66	3
	11/9	ケミプロ化成先端科学技術支援センター	第二回光都わくわくサイエンスフェスタ 「小さな世界をのぞいてみよう!」	99	6
	12/14	光都IV期集会所	第三回光都わくわくサイエンスフェスタ「アンドロメダ銀河見れるかな!」	49	4

	2/1	ケミプロ化成 先端科学技術 支援センター	第四回光都わくわくサイエンス フェスタ「回転の不思議な力を 感じよう！」	81	4
	2/22 (予定)	ケミプロ化成 先端科学技術 支援センター	第五回光都わくわくサイエンス フェスタ「海に住む不思議なか たちの小さいきものをさがそ う！」	最大 90名	4

2025/09/28 「光と色のサイエンスワールド」



光の三原色、色の三原色、光の分光による太陽光に含まれる色の分離と観察を通して、物体の色がなぜ異なるかを体験。科学工作では水性ペンで水でにじませて火花をたくさんつくってもらいました。

2025/11/1 「カフェ・カガク・コウト」



兵庫県立大学・理学部との共催でサイエンスカフェ。兵庫県立大・理学部の梅園先生から、プラナリアの体の不思議について講演を聞かせてもらいました。驚きの発見についてのスライドで会場から歓声が！

2025/11/1 「小さな世界をのぞいてみよう！」



兵庫県立大学・理学部・園部先生を講師にお招きし、位相差顕微鏡による微生物（ゾウリムシ、アメーバ、テトラヒメナ）の観察。学校で使う顕微鏡より性能が高い位相差顕微鏡で見たゾウリムシのせん毛に大人も子供も大興奮！ゾウリムシが電流を流したら動きを変えるとは・・・。

2025/12/14 「アンドロメダ銀河見れるかな！」



元西はりま天文台研究員・時政先生の天体望遠鏡で冬の星座をたくさん見ました。初めての天体望遠鏡、さらに、美しい光部の星空にみんな静かになりました。時政先生が双子座流星群が見られる日程にくださったので1時間の間にいくつか流星を見られて「初めて流れ星を見た！」という声も上がっていました。

2025/11/1 「回転の不思議な力を感じよう！」



ラボ長が講師をつとめ、自転車の車輪の回転を利用したジャイロ効果の不思議な体験、地球ゴマを利用したジャイロ効果の現象観察などの科学実験・体験を経て、ボールベアリングを利用したハンドスピナー工作。ハンドスピナーのジャイロ効果を利用して CD を立てるといった難しいプロジェクトに挑戦して見事みんなで成し遂げました！

協働の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ● たつの市新宮図書館（夏休み自由研究サポート企画のお手伝い）（理化学研究所を通して依頼） ● 兵庫県立大学のサイエンスカフェプロジェクト（カフェ・カガク・コウト） ● 兵庫県立大学の園部先生（講師として） ● ケミプロ化成先端科学技術支援センター（協賛）
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業連携の再検討・再始動 計画していた、たつの市内の化学関連企業との協働については、本年度は日程調整等の都合により実施に至らなかったが、次年度事業として改めて企画・調整を行い、実施に向けた検討を進める。 ● 親子参加型の強みを活かした事業継続 本事業は地域特性上（自家用車による移動が主体であること）、親子での参加が多く見られ、親子が一緒に科学実験に取り組むことで、科学体験を通じた親子間のコミュニケーション創出につながった。この成果を踏まえ、今後も親子参加型のプログラムを本事業の柱として継続・発展させていく。 ● 参加者の定着を活かした学習環境の深化 回を重ねるごとに参加者が一定程度定着し、初回に見られた緊張感が和らぐとともに、イベントをより良いものにしようとする一体感が醸成されてきた。この流れを活かし、講師と参加者、参加者同士の双方向的なやり取りを重視した、質の高い学習環境の形成を今後も継続する。 ● コミュニティ形成の強化とグループ型体験の拡充 名札着用による運用は、参加者同士の心理的距離を縮め、継続的な参加を促すコミュニティ形成に有効であった。今後はこの基盤をさらに発展させ、グループ型の体験実験や協働作業を増やすことで、参加者間の結束力を一層高めていく。 ● 計画的な事業運営と実施時期の最適化 本事業を通じて助成金の運用方法や事業実施上の知見が蓄積されたことから、次年度は4月以降、より計画的かつ円滑にプロジェクトを開始できる体制が整いつつある。これを踏まえ、気候の良い時期を中心に、屋内外を組み合わせた多様な実験イベントの実施を検討する。 ● 地域イベントとの連携による波及効果の拡大 あわせて、季節や天候条件を活かした屋外型実験イベントの実施や、光都地区で開催される大規模イベントに合わせたブース展示等を行うことで、より多くの地域住民への事業波及を図っていく。

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 親子で楽しむボードゲーム 交流プロジェクト

団体名： <西播ボードゲーム倶楽部>

所在：兵庫県相生市

那波東本町 5-42

代表:山上 侑

目的	共働き世帯の増加等により、親子で交流する機会が減少している現状を踏まえ、ボードゲームを活用した体験型イベントを実施し、親子のコミュニケーション促進と、地域で安心して参加できる交流の場づくりを目的とした。				
事業内容	公共施設において、親子向けボードゲーム体験会を実施した。未就学児から小学生を対象に、簡単に親子一緒に楽しめるボードゲームを中心に運営し、一部イベントでは大型ボードゲームを導入することで、参加しやすい雰囲気づくりを行った。				
地域	西播磨地域全域を対象とし、主に相生市内の公共施設を活用して実施した。				
事業の効果	親子と一緒に遊びながら交流する機会を提供でき、家庭や地域でのコミュニケーションの促進につながった。また、遊びを通じて子どもたちが考え、協力する体験の場となりました。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	4/27/2025	有年公民館	うねぶら!! ボードゲーム体験会	28	4
	7/5/2025	相生市なぎさホール	放課後こども教室 サタデースクール ボードゲーム体験会	28	6
	8/3/2025	相生市なぎさホール	こどもフェスティバル neo ボードゲーム体験会	161	10
	11/30/2025	相生市なぎさホール	親子で考えるボドゲ体験会	13	6
	2/1/2026	相生市なぎさホール	親子で考えるボドゲ体験会	23	6

写真 4/27 うねぶら!!
ボードゲーム体験会



写真 7/5 放課後子ども教室
サタデースクール
ボードゲーム体験会



写真 8/3 こどもフェスティバルneo
ボードゲーム体験会



写真 11/30
親子で考えるボードゲーム体験会



※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

<p>協働の相手方</p>	<p>うね地区まちおこし隊 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール 相生市教育委員会 涯学習課</p>
<p>今後の展望</p>	<p>今後も、ボードゲームを使った親子向けの交流イベントを続けていきたいと考えています。 親子や地域の人たちが気軽に集まり、一緒に遊びながら交流できる場をつくることで、地域の中で顔の見える関係が増えていくことを目指します。 また、公共施設や地域の関係団体と協力しながら、無理のない形で活動を続けていき、子どもたちや保護者が安心して参加できる場を広げていきたいと考えています。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 上郡☆つながるプロジェクト

団体名： < しんぐう Next >

所在： たつの市新宮町鍛冶屋565

代表： 石井 靖敏

目的	<p>上郡町のみならず西播磨地域では、少子高齢化の影響や若者の町外への流出によってまちの賑わいや担い手が減少しており大きな課題となっている。</p> <p>そんな中、昨年度上郡町においてご縁をいただき町の未来について話し合う『みらい☆サロン』を開催させていただきました。上郡町の住民の方々や上郡高校の生徒さんも含めたメンバーで町の賑わいやボランティアについて意見交換をし、その中で、上郡町の課題やできることをみんなで出し合う機会をいただきました。今年度はその意見交換でみなさんに出していただいた「私たちが出来る町の活性化アイデア」を実現していきながら上郡町に交流とにぎわいの場を生み出していく事業を進めています。</p> <p>地域住民が一丸となって、町の活性化に取り組むことでまちの未来を自分事にし、上郡を想うふるさと愛を育てていくような活動にしていきたい。また、住民や若い世代の方のシビックプライドの醸成にも期待しながら、今後も持続可能なまちづくりに進展していくようなプロジェクトに育てていきたいと考えています。</p>
----	--

タイトル：『上郡☆つながるプロジェクト』

① 上郡の地域住民と賑わいづくりに取り組むチームを作り、昨年度出し合ったアイデアを実現していく活動を実施する。

【上郡の特産品で料理教室と新メニュー開発】

昨年度皆さんに出していただいたアイデアを共有しながらこの事業でできることを確認しつつ進めてきました。住民や学生、農家さん、企業など町全体をつないで新メニュー開発をする計画でした。しかしながら、メンバーの方から「まずは特産品や農産物を生産している方や加工する方、販売する方がつながる場が欲しい！」との意見があがりました。そのため再びみらいサロンを開催し意見交換の場をつくりました。それぞれの立場から上郡の現状などをお聞きしながら交流を深めることができました。新商品の開発にはまだ至っておりませんが、それぞれができることを持ち寄った賑わいイベントをすることとなり、有機野菜を含めた上郡の農産品や特産品を集めたイベントを開催する事になりました。（2月15日に開催する予定で進めています。）このイベントをきっかけにつながりをさらに深め新メニュー開発など共創事業を生み出していきたいと思えます。

【上郡クリーン大作戦】

上郡地域で開催されるイベントで、クリーン作戦を実施する！というプロジェクト。【上郡プロギング隊】により『上郡音楽フェス』でイベントの後、掃除イベントを開催しました。※プロギングとは、ゴミ拾いとジョギングを合わせたスウェーデン発のNewスポーツ。今後は、上郡の魅力でもある河川や里山などの自然を保護する活動に発展させていきたいと考えています。

【上郡及び西播磨の情報発信をみんなで共有する。】

インスタやFBなどのSNSで、地域の魅力発信についてみんなでできる方法を考える。というテーマでした。今年度春から観光協会の方がインスタなどのSNSの発信を積極的に実施されていることを知り担当者にみらいサロンに来ていただき一緒にお話を聞かせてもらいました。この発信を一緒に応援する形で進められないかという意見を出していただいたので、今後も協議を続けながら実現に向けて進めていきたいと思えます。

今後は観光協会の方とともにSNS講座や動画撮影講座を企画・開催できるように調整していきます。

【その他】

○空き家や古民家の活用

- ・多世代交流の場づくり・同じ趣味の人で集まり・地域のイベントと一緒に盛り上げる！
- ・上郡町外からも来てもらえるイベント開催。（関係人口）

○ワークショップや学びの場を主催してくださる方を募集し交流の輪を広げる。

○ボランティアを広く募集して、さまざまな人が集まれる場所を一緒に作っていく。

○ニュースポーツイベントの企画、開催。

その他にもみなさんから提案いただいたアイデアがたくさんありました。それについても、今回の2月のイベントに盛り込み、ニュースポーツの体験会の開催や子ども食堂の実施とこどもの遊び場づくりなどを同時開催する予定で進めております。みなさんのアイデアをできるだけ実現するように進めていきたいと思えます。

② 引き続き上郡町の地域課題を話し合い、解決策を探っていく。

課題に対してみらい☆サロンを実施して話し合いの場を作りました。今後も提案があったテーマについて話し合いの場づくりを続けていきながら少しでも解決に向けて住民主体で実現していけるように進めていきます。

③上郡町で活躍されている方、既存の団体や企業などとの交流の場を生み出し意見交換や協働について話し合う機会を生み出す。

これまでつながりのなかった、上郡商工会や上郡有機農業推進協議会の方、農家さん、移住者、地域活動家、地域おこし協力隊の方などにも協力いただき、さらなる輪の広がりを生み出すことができました。

地域	上郡町				
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・上郡地域で活動や事業をされている方に意見を聞くことでさらなる課題やアイデアを出すことができた。 ・地域をつなぎ合わせることでそれぞれの想いを共有することができ、課題解決に向けた取り組みがより進みやすくなってきた。 ・仲間を募ることで、今後も継続して実施していける雰囲気生まれている。 				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	4 / 1 4 (月)	コープ上郡	昨年度の振り返りと今年度の取り組みについての会議	7名	1名
	5 / 1 2 (月)				
	6 / 1 2 (水) 19時半～	上郡商工会	今年度の活動内容の説明と協力の要請	7名	1名
	6 / 1 6 (月) 7 / 1 4 (月)	光都プラザ	今年度の活動についての作戦会議	6名	1名
	8 / 2 5 (月) 10時～	コープ上郡	みらい☆サロンの実施 『つながる☆上郡』について意見交換。 ・特産品を活かした地域活性化 ・ゴミ拾いイベントについて ・情報発信について	20名	3名
	11 / 1 5 (日) 10時～16時	コープ上郡	音楽祭の協力と上郡プロギング隊の実施。 音楽祭のあと、ゴミ拾いイベントを実施。	30名	5名
	12 / 1 8 (木) 14時～	コープ上郡	みらい☆サロンの実施 『上郡地域の生産者と加工業者、販売業者の意見交換会』	24名	3名
	2 / 1 5 (日) 10時～	コープ上郡	『こども食堂とマルシェ&お遊び』イベント開催予定	500名 目標	20名 程度

8/25 (月) みらい☆サロン



上郡高校の生徒さんから意見を聞く

11/15 (日) 上郡音楽祭



上郡プロギング隊、ゴミ拾いイベント

12/18 (木) みらい☆サロン



生産者と加工者、販売者の意見交換会

2/15 (日) こども食堂&マルシェ



開催予定

※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ○コープこうべ第7本部 ○上郡社会福祉協議会 ○陽光こども園 ○上郡高校 ○上郡商工会青年部 ○上郡有機農業推進協議会 など
今後の展望	<p>地域住民が主体となった地域づくりの実現と市民と行政、企業が一緒になって未来を考え作っていく、共創・協働のまちづくりを推進していきたい。</p> <p>さらなるつながりを生み出しながら、上郡全体で賑わいを生み出す環境を整えていきたい。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名：播磨科学公園都市の自然環境についての調査・啓蒙による自然保護

団体名：＜兵庫県立大学自然研究会＞

所在：兵庫県赤穂郡上郡町光都3-2-1

兵庫県立大学播磨理学キャンパス

代表：安田 満帆

目的	播磨科学公園都市周辺は、絶滅危惧種を含む希少な動植物が存在する素晴らしい自然があるが、学生、住民にはそのことについての認知度が低い。そのため、まず播磨科学公園都市周辺にどのような生物が生息しているのかを、本会に所属している学生が調査を行う。またその調査結果を地域住民の方を対象として紹介する機会を提供ならびに、記録誌を配布することで貴重な自然を知る機会を提供する。				
事業内容	本会に所属する学生により、定期的な観察会を行い播磨科学公園都市周辺に生息する生き物をより深く理解する。その後、2025年西播磨フロンティア祭で展示や、記録誌の配布、植物を使った遊びを紹介する。				
地域	播磨科学公園都市周辺				
事業の効果	播磨科学公園都市周辺に生息する生物を定期的に調査することが可能であり、より多くの生物種を確認することが可能であった。また2025年西播磨フロンティア祭に参加し、400部の会の記録誌を配布することが出来、写真展示や、ハーバリウム作成会、イチヨウの葉を使った遊びについて多数の方を実現した為、より多くの方に播磨科学公園都市周辺の自然について知る機会を提供出来たと考える。2026年1月15日兵庫環境部自然鳥獣共生課より「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」に認定された。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	5月10日	兵庫県立大学播磨理学キャンパス周辺	野草食草会を実施	30人	5人
	5月18日	兵庫県立大学播磨理学キャンパス	兵庫県立大学文化祭にて展示	50人	3人
	6月15日	角亀川	ホタルの観察会を実施	12人	6人

8/30	角亀川	魚類の生物調査を実施	7人	7人
10/25	播磨科学公園 都市・芝生広場	2025年度フロンティア祭に出展。会の記録誌の配布、写真展示、ハーバリウム作成体験会の実施	400人	8人
5, 6, 10月	兵庫県立大学 播磨理学キャンパス周辺	植物観察を実施	5人	5人
5~2月	兵庫県立大学 播磨理学キャンパス周辺	バードウォッチングを実施	5人	5人

2025年5月10日
野草食草会①



2025年5月10日
野草食草会②



2025年5月18日
兵庫県立大学文化祭①



2025年5月18日
兵庫県立大学文化祭②



2025年6月15日
ホタルの観察会①



2025年6月15日
ホタルの観察会②



2025年8月30日
角亀川生物調査会①



2025年8月30日
角亀川生物調査会②



2025年10月25日
2025年西播磨フロンティア祭に出展①



2025年10月25日
2025年西播磨フロンティア祭に出展②



2025年植物観察会

--	--

※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	
今後の展望	<p>調査会を昨年度より多く開催することが出来た為、より多くの生物の観察が可能であった。特に植物では、季節変化まで観察することが出来た為、来年度以降の変化を観察するのも使用できると考えられる。</p> <p>また初の試みとして2025年西播磨フロンティア祭にて会の記録誌の配布にも取り組んだが、約400人に配布することが実現し、これまで以上に多くの人々に播磨科学公園都市の豊かな生物について共有することが可能であった。今後も定期的な調査と会の記録誌を地域の方に配布することで自然を知る機会を提供していこうと考えている。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 地域をつなぐ音楽イベントを担う人材養成

団体名： Sing Super Sax Jazz Orchestra

所在： 姫路市広畑区蒲田 732 - 35

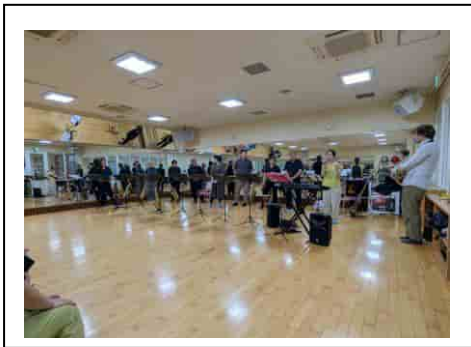
代表： 山村 翼

目的	たつの市新宮町が有する自然・歴史・文化資源の魅力を、音楽イベントを核として広く発信・体験できる機会を創出することで、観光誘致の促進と地域の賑わいを生み出すとともに、音楽体験教室やワークショップ、演奏・運営への参加を通じて、若年層を含む住民の主体的な参画を促し、文化活動の継続と新たな担い手の発掘・育成を図ることを目的とする。				
事業内容	北新町自治会と連携し、ひがん花まつり等の地域イベントへの参加を通じて、新宮町の魅力を「水脈」として発信し、地域活性化と持続可能な地域社会の形成を目指す。朝日スポーツクラブでは3カ月に1回の自主演奏会を開催し、打楽器体験やジャズに親しむコーナーを設けることで、子どもからシニアまで幅広い世代の参加を促し、将来の音楽活動やイベント支援の担い手を育成する。さらにワークショップや交流イベント、揖保川町での開催を通じて交流人口を拡大し、地域の魅力を自分事として捉える人材育成と周辺地域の活性化につなげる。				
地域	たつの市新宮町を中心に、たつの市全域とその周辺の市町村				
事業の効果	音楽イベントや体験型ワークショップを通じて、新宮町の自然・歴史・文化資源の認知度が向上し、来訪者や交流人口の増加が期待された。あわせて、子どもから高齢者まで幅広い世代が我々の演奏に打楽器や手拍子で参加することで、若年層の地域活動への関心を高め、世代間交流の促進や地域コミュニティの活性化につながったと考えている。さらに、イベント運営にボランティアで参加していただいたことにより、文化活動の新たな担い手を発掘・育成に関与し、地域の魅力を自分事として捉える人材が増えたと期待される。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	9/21, 10/12 11/3, 11/30 12/6, 1/31 2/11, 2/23	西播磨文化会館	定期練習	7~10人	1名
	6/1, 10/5 6/22, 9/28	新宮公民館 朝日スポーツクラブ	定期演奏会	20人	10名

9/28	宮内遺跡公園	ひがん花まつり	約 2000 人強	13 名
10/25	片島グリーン ハイツ公民館	片島グリーンハイツ公民館 住民向け 秋祭り	100 名	10 名
12/14	たつの市役所	WAO！楽しもう国際交流フェス ティバル 2025	約 800 人	10 名
12/21	新宮公民館	新宮公民館 クリスマス会	60 名	13 名
1/27	西播磨文化会 館	音楽セミナー(ワークショップ)	12 人	4 名
2/23	西播磨文化会 館	反省会	実施予定	

6/22

朝日スポーツクラブでの定期ライブ



新宮町ひがん花まつりや宮内公園遺跡についての紹介コーナーを入れ、終盤には打楽器の使い方を説明後、叩き方の練習をはさみ、お客様にも演奏に参加していただき、楽器を演奏する楽しみを感じていただきました。

9/28

ひがん花まつり



来年度の来場促進のMC、新宮町の良さを伝え、演奏中はお客様には手拍子で参加していただき、ジャズのリズムを体感していただきました。

9/28

朝日スポーツクラブでの定期ライブ 1



新宮町ひがん花まつりや宮内公園遺跡についての紹介をはさみ、ジャズの歴史・ジャズのよもやま話も取り入れながらの演奏会。

9/28

朝日スポーツクラブでの定期ライブ 2



打楽器の使い方と、ジャズのリズムでは重要な、後打ちを体験していただき、ジャズ・音楽の楽しさを味わっていただきました。

10/25

片島グリーンハイツ秋祭り 1



新たな協働先、片島グリーンハイツの自治会様と地域活性の共通の強い思いによりご協力する機会を得て、演奏させていただきました。新宮町の魅力についてもしっかりお伝えできました。

る機会を得て、演奏させていただきました。新宮町の魅力についてもしっかりお伝えできました。

10/25

片島グリーンハイツ秋祭り 2



打楽器を使って、ジャズのリズムと打楽器の使い方のミニ講座を入れ、リズムをお客様にお任せする曲もあり、ジャズの楽しさを感じていただいた。子供から年配の方まで幅広い年代の方にも演奏に参加いただけた演奏会となった。

た。

12/14

WAO！楽しもう国際交流フェスティバル 2025



新宮町で活動していることや新宮町の魅力について発信するとともに、客席には強風のため行くことができなかったが、ブルースとボサノバのリズムを手拍子で一緒に参加していただき、一緒にイベントを盛り上げていただいた。

12/21

新宮公民館 クリスマス会



この1年の活動内容と新宮町の活性の一如を担うような活動を頑張っている旨をお伝えし、地域盛り上げのご協力を投げかけるイベントでもある。ブルースとボサノバ、4ビートとリズムを打楽器と手拍子で一緒に参加していただき、一緒にイベントを盛り上げていただいた。

1/27

音楽セミナー(ワークショップ)



昨年の約2倍の人数の方が参加され、ジャズの歴史・リズム・リズムの取り方、プロのライブ現場のお話など、実演を含めて一緒に学ぶ機会を共することで、我々の音楽活動だけでなく地域活動への関心を高めるきっかけになったと感じている。

※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	<p>1. 北新町自治会 ひがん花まつりへの参加にとどまらず、自主開催のイベント等においても本事業の周知を継続して行ってきた。その結果、少しずつではあるが来場者数の増加につながっていると感じている。今後も、一方的に演奏を届ける形ではなく、音楽を通じて地域活動に関わるきっかけづくりとなっている。今後もこうした双方向性のある場を継続し、地域活動やイベント運営に関心を持つ人材の裾野を広げていきたい。</p> <p>2. 片島グリーンハイツ自治会 今回が初めてであったが、地域を音楽で盛り上げたいという思いを共有することができた。また、新宮町の魅力を伝える機会ともなり、打楽器を用いた参加型の演奏を行うことで、参加者に「自分も演奏に関わっている」という実感を持ってもらうことができ、音楽や地域活動への関心を高めるきっかけになったと感じている。今後は、こうした体験を通じて、イベントの準備や運営を手伝ってくださる方など、地域の文化活動を支える人材につながることを期待している。</p>
今後の展望	<p>これまで実施してきた音楽イベントやセミナー・ワークショップを継続し、地域の方が気軽に参加できる場として定着させていくことを目指す。北新町自治会をはじめとする地域の方々との連携を大切にしながら、定期的な開催を続けていく。</p> <p>自主演奏会についても、今回特に力を入れて取り組んだ、打楽器体験や参加型のコーナーは好評を奏したため継続し、子どもから高齢者までが音楽に親しめる機会を提供していく。そして、参加者の中から、イベントの準備や運営を手伝ってくださる方が少しずつ増えることを期待し、地域の活動を支えるきっかけづくりにつなげていきたい。</p> <p>また、揖保川町など周辺地域での開催についても、地域の方々と相談しながら可能な範囲で取り組み、交流の機会を増やしていく。こうした活動を通じて、新宮町の魅力を知ってもらう機会を継続的に作り、地域に関心を持つ人が少しずつ増えていくことを目指したい。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 西播磨山城イベントスタンプラリー2025

団体名： 西播磨山城ガイド協会

所在： 姫路市南町76番地 城陽ビル2F

代表： 池本 芳文

目的	ガイドの案内で安全に登って頂ける登城ツアーの開催を通じて、県内外のお客様へ西播磨地域の歴史と魅力を感じて頂き、参加ごとにスタンプを集めるスタンプラリーとすることで西播磨への再訪を促す。				
事業内容	西播磨にある主要な山城のうち9か所で登城ガイドツアーを実施し、参加ごとにスタンプを付与。2つ以上集めた方の中から抽選で20名に西播磨の特産品セットを贈る。賞品は地域の企業やお店から協賛を募った。				
地域	西播磨全域				
事業の効果	今年度は雨天中止が2度もあり、参加者数は昨年より少なかったものの、新規のお客様や県内の方に多くご参加頂いた。県外からは遠く関東からの参加者もあった。また、今回初実施の城は早くに定員がうまり、山城ファンの注目度が高いことを実感した。山城目当ての方以外にも、登山好きの方にも参加頂いており、ガイドの案内がすごく良いと感想を頂いている。 中には2年、3年と連続で参加されているお客様もいる他、来年もぜひ開催してほしいという要望もある。恒例イベントとして定着しつつあると感じている。 インスタグラムでフォトコンを募集したが、インスタグラムの仕様が変わりハッシュタグでの絞り込みができなくなったため、今回はやむなく中止とした。				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	4/10	西播磨文化会館	企画会議		14
	10/1	西播磨文化会館	実施前会議		10
	10/26	柏原城(宍粟市)	雨天のため中止		
	11/2	利神城(佐用町)	登城ガイドツアー	22	3
	11/9	感状山城(相生市)	雨天のため中止		
	11/16	楯岩城(太子町)	登城ガイドツアー	11	4
	12/7	大聖寺山城(上郡町)	登城ガイドツアー	25	3
	12/13	上月城(佐用町)	登城ガイドツアー	14	4
	1/25	坂越浦・茶臼山城(赤穂市)	登城と街並みガイドツアー	31	4
	2/8(予定)	有年山城(赤穂市)	登城ガイドツアー	23	6
	2/21(予定)	相生福祉会館	賞品発送作業		10

写真



11/2(日)利神城

写真



11/16(日)楯岩城

写真



12/7(日)大聖寺山城

写真



1/25(日)坂越浦・茶臼山城

※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

協働の相手方	
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ実施されていない城でのツアー（整備や駐車場などの問題ですぐには実施できないかもしれないが検討したい） ・街並みガイドなど他団体との協働

事業実施報告書

事業名： 県立大学学生有志と地域住民との文化的交流による光都の活性化

団体名：＜兵庫県立大学学生有志 スパークル＞

所在：播磨科学公園都市

代表：理学部4年 段野王海

事務局長 伊藤恭子

目的	<p>播磨科学公園都市の中核大学として設置された兵庫県立大学理学部の学生の多くは光都の寮で生活している。大型研究施設が近接し、緑に恵まれ広々とした環境は、勉学研究を進める上では最適であるが、昼間人口はわずかに増加傾向にあるにもかかわらず夜間人口は減少し続け、街全体の活気が失われつつある。</p> <p>より魅力ある街づくりのためには、インフラの整備ももちろん必要であるが、研究者、若いエネルギーを持つ兵庫県立大学理学部生と地元住民がより交流を持ち、互いの力をそれぞれ発揮して新しい輝きを町にもたらすことが必要であると考えられる。本事業は、中核大学である兵庫県立大学理学部の学生有志が、住民、研究者に対して、日頃活動している得意分野を発信し、文化的交流を深めて、この地域の特性を生かしながら輝きをもたらすことを目指す。</p>
事業内容	<p>兵庫県立大学生と地域住民、播磨科学公園都市内の勤務者との交流の場を提供することにより、異なる年代の人たちとの壁を取り払って交流する。本年度はより参加型のイベントを増やした。本年度は、終戦、原爆投下から80年という節目の年で世界では紛争が継続していることから、現存する唯一の被爆ヴァイオリンを用いたコンサートを開催し、平和の尊さを幅広い年代で考えるイベントを行った。また、光都に生活する多様な人々とより交流を深めるために『拡大4期会』という住民のグループとの共催で国籍、年齢が異なる住民との交流会を2回開催した。生の演劇鑑賞、光都の自然を詰め込んだリース作り、レゴの大会で日本1位となった講師を迎えてのワークショップなど様々なイベントを多くの人と楽しむことができた。</p> <p>また不要となった書籍や教科書を無償で提供いただき、必要とする人に繋ぐことにより、能登半島地震災害義援金を届けることが出来た。これはSDGsの取組みとしても有益であった。</p>
地域	播磨科学公園都市
事業の効果	<p>兵庫県立大学の学生と多様な住民との交流の場を持つことができた。その交流を通じて、平和への意識、多様性を受け入れる意識など多くの刺激を参加者の中で感じることができたことは大きな収穫であった。</p> <p>また、卒業や進学に伴って不要となった教科書や書籍を無償で寄付してもらい、それを必要とする人に繋ぐことにより募金額も含めて、総額115,770円を義援金として届けることが出来た。この活動は、義援金を届けることが出来ただけでなく、教科書を購入するのに苦労する学生を助ける事にもなり、またSDGsの取組みに参加するという意識を持つことにもつながった。</p> <p>いまだに世界各地で紛争が続いているが、終戦、被爆から80年という節目の年に現存する唯一の被爆ヴァイオリンの音色を鑑賞し、世代を超えて平和への想いを強くした。また日本国内では多くの外国人が生活するようになり、多様な人々が協力して生活していくことの重要性が論じられてきている。国籍や世代を超えた繋がりを受容性をつよくかんじ、これからの世界を生きるために必要な事であると実感することが出来た。</p>

	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
4月3-5日、	兵庫県立大学 研究棟ロビー 光都プラザ エ スプラナード	2024年度末に無償で提供された 教科書及び書籍の販売 不要な書籍の回収及び提供され た書籍の販売	多数	2
6月28日	光都プラザ コトハナ	第16回 光都大作戦 with 劇団 ぽちゃん ~公演 レテの肖像~	30	3
7月18日	兵庫県立大学 研究棟 談話 室	第17回 光都大作戦 特別企画 被爆ヴァイオリンの音色を鑑賞 し平和の尊さを考える	100	5
8月7日	光都プラザ コトハナ	第18回 光都大作戦 光都の多様性を楽しむ vol1	30	4
8月16日	光都プラザ 会議室	第19回 光都大作戦 with ス トリングスオーケストラ：伊 藤さくらによる公開レッスン	50	1
11月15日	上郡町 コープ駐車場	後援イベント：上郡町 JAZZ 研、吹奏楽団、司会	多数	3
10月26日	光都プラザ コトハナ	第20回 光都大作戦 光都の多様性を楽しむ vol2	30	3
11月29日	光都プラザ コトハナ	第21回 光都大作戦 with lilly of the valley ~リース作り	30	2
12月21日	光都プラザ コトハナ	第22回 光都大作戦 with 劇団 ぽちゃん ~サンタクロース・ カンパニーへようこそ~	25	3
1月11日	光都ふれあい スポーツ交流 館	第23回光都大作戦 with ふれ あいスポーツ交流館 ~大ボッチャ大会~~	40	3
1月18日	光都プラザ コトハナ	第24回 光都大作戦 特別企画 レゴ ワークショップ in 光都	100	4
2月16日 ~	兵庫県立大学 研究棟ロビー	本の回収		

不要となった教科書や書籍を
必要とする人に繋ぐことによる
館登半島自然災害義援金を集める取組み

無償で本を提供してくださった方、またそれを購入してくださった方による支援活動の結果、募金額も含めて115,770円を日本赤十字社を通じて館登半島の支援活動のために寄付をした。



4月3,4,5日	金額(円)
書籍の売上総額	113,160
募金総額	2,610
合計	115,770

第17回 光都大作戦 特別企画
現存する唯一の被爆ヴァイオリンによる演奏会
被爆ヴァイオリンの音色を鑑賞し平和の尊さを考える。

演奏と共に、スライドでヴァイオリンの軌跡、原爆の惨劇の説明を行った。お昼休みに出入り自由で開催することにより、学生、教員、事務職員、近隣住民と多くの方に聴いてもらうことが出来た。



第19回 光都大作戦 with ストリングスオーケストラ
8月16日(土) 14:00~15:00
場所：光都プラザ 2F 会議室
伊藤さくらとGustav Wocherによる公開レッスン

バッハ作曲の『主上人の喜びの喜び』を取り上げ、公開レッスンを行った。この他にエルガーの狂熱セレナード等の演奏に、講師がヴァイオリンとチェロのトップに加わって演奏する試みも行った。

レッスン後にはプロ奏者二人の狂巻の演奏も楽しめた。



第16回 光都大作戦 with 劇団ぼちゃん
～レテの肖像～
日時：6月28日(土) 13:30開演 (13:00開場)
場所：光都プラザ 2F 会議室

兵庫県立大学の工学、理学、環境人間学部のメンバーで構成される、劇団ぼちゃんによる公演を行った。劇団員が脚本を作成し、演出、演技まで全てをこなし、熱演されるミステリーものの公演は、多くの人々に感動を与えた。



第18回 光都大作戦 国際懇話会
「光都の多様性を楽しむ」 Vol.1
8月7日(木) 18:00~20:00
場所：光都プラザ Kotohana

光都自治会の部会(社大4期まちづくり部会)との共催で、光都の多様性を考える会を考案した。第1回目となる、8月7日には、光都で生活する、元外交官のOlivier Vaxant氏(フランス)を招き外交官としての貴重な体験話を話してもらった。また、電機会社勤務のズイン氏(モロッコ)、専業主婦を助ける音楽家のヴォッヒャー氏(オーストリア)招き、異国人から見た光都の魅力及び残念なことなどを率直に話して頂き意見交換をする場を持った。



第20回 光都大作戦
「光都の多様性を楽しむ」 Vol.2
11月26日(水) 18:30~20:00
場所：光都プラザ Cotohana

光都に関わる多様な人々の中から、『光都の○○○』と題して、○○○には、それぞれの講演者の思いを入れてもらい、10-15分程度で話して頂き、その後、それをもとに場で、話し合うこととした。

2回目となる11月26日には光都在住で理学部の開学から関わって来られた光都の歴史についてご存じである新免先生に光都の植物について、また寮生である段野氏に学生の立場からみる光都の



<p align="center">第21回 光都大作戦</p> <p align="center">「光都の自然を詰め込んだリース作りの会」</p> <p align="center">11月29日(土) 14:00～16:00 場所：光都プラザ Cotohana</p> <p>光都内で集めた木の葉や松ぼっくりなどを用いて、リースを作成する会を開いた。それぞれ好みの材料をふんだん使用した個性的な作品が仕上がった。</p> <p align="center">各家庭でそれぞれの作品を飾ったと多くの嬉しい声が届いた。</p>  <p align="right">光都在住で、Lily of the valleyの藤田さんに指導して頂いた。</p>	<p align="center">第22回 光都大作戦 with 劇団ぽちゃん ～サンタクロース・カンパニー へようこそ～</p> <p align="center">12月21日(日) 15:00～16:00 場所：光都プラザ Cotohana</p> <p>今回も、脚本から全て学生によって創られた演目を、間近で観劇することが出来た。これまででは、大人向けであったのに対し、今回の演目では一転し、子供から大人まで楽しめる時間となった。</p> 
<p align="center">第23回 光都大作戦 大ポッチャ大会</p> <p align="center">2026年 1月11日(日) 10:00～12:00 ふれあいスポーツ交流館</p> <p>ふれあいスポーツ交流館の方に指導と審判をして頂いて、小学生から高齢者（最高70歳）まで、パラスポーツであるポッチャを、みんな最高の笑顔で楽しむことが出来た。6チームが総当たり戦で対戦し、チームワークよく、歓声が入りな中に響いた。</p> 	<p align="center">第24回 光都大作戦 特別企画 レゴワークショップ in 光都</p> <p align="center">2026年 1月18日(日) 初級者：10:30～12:00 中級以上：13:00～14:30 場所：光都プラザ Cotohana</p> <p>参加費＝使用するレゴ代金 初級者：1100円 中級者：1800円</p> <p>2025年12月レゴマスターズJAPANで見事で見事優勝し、日本一に輝いた、理学部2回生の石井拓門さんを講師に招きレゴのワークショップを開催した。レゴの経験のみで初級と中級に分かれて開催したところ、4歳から大人（最高50歳）までの参加者で各級24名の定員が全て満席となった。</p>  <p>石井さんがこのイベントの為に、考案してくれたオリジナル作品(中級はスプリング8の建物)を指導を受けながら作成。</p> <p>レゴとの出会いや、レゴの可能性についても熱く語って頂き、聴講者や保護者を含めると、延べ100名以上が参加して下さり盛大に、スパークルの最後のイベントを締めくることが出来た。</p>

協働の相手方	<p>Kurinoki 音楽事務所 拡大4期まちづくり部会 ふれあいスポーツ交流館 兵庫県立大学吹奏楽団、ストリングスオーケストラ、劇団ぽちゃん、JAZZ 研 コープ上郡</p>
今後の展望	<p>◎21世紀となった今も、世界では紛争、戦争が継続している。平和を望む気持ちをすべての人と共有していくことの重要性をひしひしと感じる。今後も僅かであってもその思いを共有できる場を作っていきたい。</p> <p>◎異なる国籍、年齢、履歴を持つ人々が集まって語り合うことは、多様な人々が生活する光都の魅力と問題点を考えるのによい機会となったので、継続していく必要があると考える</p> <p>◎年度末から年度初めの時期を迎える時期に、不要となった教科書や書籍を必要とする人につなぐことによる、能登半島での相次ぐ自然災害により被災された方々への支援活動も続けていく。またこの活動を通じて、よりSDGsの取組みに対する意識を高めていくことを目指す。</p>

(別紙4)

事業実施報告書

事業名： 愛（あい）言葉は山・川・海！里うみクリーンプロジェクト

団体名： < 特定非営利活動法人赤穂里うみカヤックス >

所在：赤穂市新田599番地の1

代表：山口 晴康・上山 浩一

目的	赤穂市唐船海岸周辺は、兵庫県立赤穂海浜公園のリノベーション効果も相まって市内外から人気が高まっているが、千種川河口及び海の漂着ごみが多く、年間通じた自然環境の保全活動が必要である。また、唐船海岸はアマモの生息域であり、従来から地域の学校や住民が自然観察や環境保全活動に取り組んできたが、河口部のみの点の活動にするのではなく千種川上流部、そして瀬戸内海沿岸部の関係団体や住民が一体となった取組みにする必要があるため、活動の情報発信を強化したい。				
事業内容	活動協力をしている赤穂海浜公園や市内地域団体等と協力し、当団体が活動場所としている唐海海岸、大塚海岸、千種川、赤穂海浜公園などでできるアクティビティの魅力発信と自然保護・環境教育事業を一覧化したチラシ、情報発信に役立つPRカード（ポストカード2種、ステッカー2種、名刺型カード1種）を作成した。作成したチラシ類は、イベント時に配布するとともに、協賛事業所などに設置してもらい情報発信に活用した。 また、ビーチクリーンを各種団体、市内外の住民との接点の場と位置づけ、集い参加への呼びかけを強化した。参加者には千種川河口や海岸付近で水辺近郊での活動を通じアマモ藻場再生の取り組みや近海の生態系、そして近年増えている投棄ゴミの問題を知って頂く機会を増やした。				
地域	赤穂市唐船海岸、大塚海岸、坂越湾、有年地区（千種川上流部）				
事業の効果	9月及び12月実施のイベントやビーチクリーンの際に、本団体が他団体とも協力して行っている環境保全、環境教育活動の内容を参加者向けにPRすることができた。今まではSNS発信やイベント時の告知ポスター・チラシ設置がメインであったが、年間通じての「里海・里川」保全の活動や瀬戸内海で行えるアクティビティが見える化できたことで、市内事業者等でチラシ設置が実現した他、SDGsに関心があり社会貢献したい企業からの問合せにも活用できるようになった。（2025年12月21日時点35事業者・施設に設置済み）				
	日付	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
事業経過	9/18	民宿レストラン初音	定例ミーティング	—	7人
	9/20	坂越湾	坂越湾カヤック体験	10人	5人
	9/21	唐船海岸	秋の海ごみゼロウィーク	12人	7人
	9/23	赤穂海浜公園	赤穂海浜公園「うみの会議」への参加	—	2人
	9/23	—	チラシ第1弾作成	—	2人

9/27	有年原・田中遺跡公園	「原ハラ土器ドキ！フェスティバル 2025」へのブース出展	50人	4人
10/17	民宿レストラン初音	定例ミーティング	—	7人
10/22	唐船クラブハウス	唐船艇庫清掃活動	—	7人
10/26	赤穂市立図書館	瀬戸内カヤック横断隊映画「瀬戸内ドリームトラベラー」試写会	15人	8人
11/25	—	チラシ第2弾・ポストカード・ステッカー作成	—	2人
11/22～11/24	千種川河口	不法投棄ごみ対応（西播磨県民局・赤穂市）	2人	4人
11/28	民宿レストラン初音	定例ミーティング	—	7人
12/6	赤穂海浜公園	赤穂海浜公園「うみの会議」事前打合せ	3人	3人
12/7	唐船・千種川河口	クリーンキャンペーン年末海の大掃除	18人	9人
12/8～12/9	千種川河口	不法投棄ゴミ対応（西播磨県民局・警察・赤穂市）	2人	5人
12/15	—	名刺型カード作成	—	2人
12/18	民宿レストラン初音	定例ミーティング	—	5人
12/19	唐船クラブハウス	アース製薬株式会社サステナビリティ推進部との打合せ	2人	4人
12/21	赤穂海浜公園	赤穂海浜公園「うみの会議」への参加	—	1人

写真①

9月20日 坂越湾カヤック体験①



写真②

9月20日 坂越湾カヤック体験②



写真③

9月21日 秋のビーチクリーン



写真④

9月23日 赤穂海浜公園「うみの会議」



写真⑤

9月27日 原ドキフェスティバル2025①



写真⑥

9月27日 原ドキフェスティバル2025②



写真⑦

10月26日 瀬戸内ドリームトラベラー試写会



写真⑧

12月7日 年末ビーチクリーン①





※掲載写真には、それぞれ日付と内容を付記してください。

<p>協働の相手方</p>	<p>兵庫県立赤穂海浜公園とは、海浜公園の利活用を共創する「うみの会議」への参加によって海辺の環境保全教育、海洋ごみや投棄ゴミの問題に継続して取り組んでいる。また、千種川研究所、うね地区まちおこし隊には千種川を通じた共同活動として、イベントへの参加協力のほかチラシ等の作成により一体的な活動のPRを行った。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>来年度の4月18日・19日開催予定のアースデイ2026に向けて、引き続きチラシ設置を通じ協力企業・公共施設等を増やしていく。瀬戸内海を舞台にした海をつながりも活発に行いたいことから、本年試験的に行った瀬戸内海航海に関する映画の上映会をアースデイのプレイベントとして検討している。</p> <p>今年度はアマモの生育エリアが減少しているため、来年度の採種時期（5月頃）に合わせ植え付けや育苗に関するボランティア協力も強化する予定である。また、年度内に千種川河口で度々投棄ゴミの問題が発生しているため、本団体でも近隣の住民の方にも協力を依頼しながら見回りを強化するとともに、兵庫県、赤穂市、警察、赤穂海浜公園指定管理者とも協議しながら再発防止対策を講じていきたいと考えている。</p>



令和7年度地域づくり活動応援事業（一般枠・特別枠）

実績報告集

（令和8年2月現在）

発行 兵庫県西播磨県民局

〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2-25